

平成29年(2017年)10月18日(水曜日)

三島商議所と観光協

駅南口東街区 再開発を要望



三島駅南口東街区の再開発推進を求める稲田会頭(右から2人目)＝三島市役所



要望書を提出する山形会長(右から2人目)

「特段の推進」求め

三島商工会議所(稲田精治会頭)と三島市観光協会(山形武弘会長)は17日、三島駅南口東街区の再開発事業について、「特段の推進」を求める要望書をそれぞれ市に提出した。市が最重要課題の一つとして取り組む懸案に関し地域の有力団体が相次いで全面支援を表明した格好で、豊岡武士市長は「全力で進める」と応えた。

(三島支局・河村英之)

東街区は0・9秒の発方針が決まらず、現下、立体駐車場を整備の広さがあり、景気低迷。在は駐車場。豊岡市長は「構想を打ち出し、20年にわたり開が商業施設やマンション年度内にも事業協力者

を選ぶ。着工は20年ごろを予定。

要望で両団体は新幹線駅にふさわしい都市機能を備え、既存商店街の活性化を図る必要性を指摘。拠点を創出することで回遊性が増し、より多くの観光客を呼び込む好循環も生まれるなどとした。

両団体はこの日、18年度の施策要望で市長と市役所で個別に面談した。駅南口東街区の推進のほか、商議所はみしま経営支援ステーション「Mーステ」の強化などを、観光協会は各種観光戦略事業の支援などを求めた。